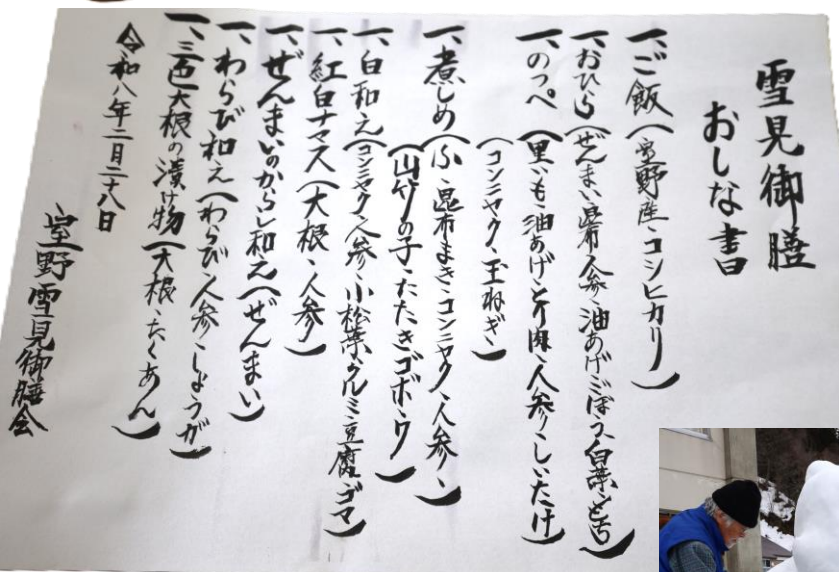


# 室野雪見御膳



地域のお父さん  
(80代)の手書き



もちろん手書き



お父さんたちが  
雪の塊を削って  
作成。

## お母さんたちへの インタビュー



# 雪見御膳を始めた きっかけは？

NPO法人越後妻有里山協働機構に頼まれたことが  
きっかけ。最初は区長さんの自宅が会場だったの。

今回で13回目。

最初は4人でスタートしたの。

今は8人まで増えた。

続ける秘訣？それはみんなで楽しむことよ。



# 雪見御膳を始めて 地域に変化はあった？

みんなのコミュニケーションが増えたことが一番の変化。

12月ごろに集まって、御膳のメニューはどうしようかとか話をするの。

何日も前から漆器の準備をしたり、お料理の仕込みをしたり、皆で協力しながらにぎやかに進めるの。

私たちはお料理だけど、お父さんたちも張り切って準備している。

地域の80代のお父さんがあの大きな「雪見御膳」の看板を書いたり、入口の雪像を作ったり…

地域みんなで準備を進めているの。



# 雪見御膳の イチオシポイント！

どのお料理も地域でとれたものばかりを使っているの。ぜんまい、人参、大根、ごぼう、こんにゃくも芋から作っている。

雪見御膳は地域によってお料理が異なるの。十日町ではそばいなりが振る舞われたりするの。

うちの一番のご馳走は「おひら」。ぜんまいがたっぷり入っていて、その上に手作りの餅をのせている。この地域のお雑煮は「おひら」なの。

白和えはたっぷりのゴマをすることから始まる。

そのごまをすったすり鉢でぜんまいのからし和えを作るの。だからからし和えも風味が豊かよ。



# FC越後妻有の選手 たちはどんな存在？

選手たちは地域を盛り上げてくれる希望の星のような存在。

奴奈川キャンパスでは選手の元気な声が響き、道で会えば何気ない会話を楽しんでいるの。

地域でとれた野菜をおすそ分けするのだけど、苦手なものが食べられるようになったとか、美味しかったと喜んでくれるのも嬉しい。

お父さんたちも選手たちが練習するグラウンドの柵を作ってみたり、選手たちとの交流を楽しんでいるの。

試合があればみんなで応援に行くのも楽しみ。